

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成29年2月14日
【四半期会計期間】	第44期第3四半期（自平成28年10月1日至平成28年12月31日）
【会社名】	株式会社コーシン精機
【英訳名】	YUSHIN PRECISION EQUIPMENT CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 小谷 真由美
【本店の所在の場所】	京都市南区久世殿城町555番地
【電話番号】	075(933)9555(代表)
【事務連絡者氏名】	経理部責任者 福井 理仁
【最寄りの連絡場所】	京都市南区久世殿城町555番地
【電話番号】	075(933)9555(代表)
【事務連絡者氏名】	経理部責任者 福井 理仁
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第43期 第3四半期連結 累計期間	第44期 第3四半期連結 累計期間	第43期
会計期間	自平成27年4月1日 至平成27年12月31日	自平成28年4月1日 至平成28年12月31日	自平成27年4月1日 至平成28年3月31日
売上高 (千円)	15,527,582	13,813,418	21,148,591
経常利益 (千円)	2,379,586	1,584,744	2,921,754
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	1,668,184	1,123,910	1,908,626
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	1,554,550	1,181,353	1,422,777
純資産額 (千円)	24,853,815	25,242,126	24,715,668
総資産額 (千円)	30,107,152	30,263,085	29,409,602
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	95.39	64.27	109.14
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	81.8	82.8	83.3

回次	第43期 第3四半期連結 会計期間	第44期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成27年10月1日 至平成27年12月31日	自平成28年10月1日 至平成28年12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	37.39	15.67

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国では引き続き個人消費が底堅く推移し安定した成長が続きました。欧州では英国EU離脱問題による経済への影響が一時的なものであったことから景気は回復基調となりました。アジアでは中国での景気の減速基調が引き続きみられ、新興国での経済成長は鈍化した状況が続きましたが、総じて先進国を中心に緩やかな回復傾向となりました。しかしながら、米国新政権の経済・貿易政策に対する今後の影響については不透明な状況にあります。

このような状況のもと、当社グループは引き続き新規事業分野での業容を拡大、新商品の開発、世界規模での新規顧客の開拓を継続して行なっていくとともに、昨年12月には生産性の向上と業務の合理化を図るため、新本社工場を竣工し、新たな一歩を踏み出しました。しかしながら、当第3四半期連結累計期間における連結売上高は上半期に受けた円高の影響により13,813,418千円（前年同四半期比11.0%減）となりました。利益面においては連結売上高の減少と新本社工場移転関連費用を計上したことにより営業利益は1,664,898千円（前年同四半期比33.2%減）となりました。経常利益については1,584,744千円（前年同四半期比33.4%減）となり、その結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,123,910千円（前年同四半期比32.6%減）と減収・減益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

（日本）

取出口ボット及び特注機の売上が減少したため、売上高は10,781,935千円（前年同四半期比2.1%減）となり、セグメント利益は1,029,164千円（前年同四半期比6.1%減）となりました。

（米国）

円高により売上高は2,395,794千円（前年同四半期比9.9%減）となり、セグメント利益は235,281千円（前年同四半期比25.5%減）となりました。

（アジア）

中国の子会社が伸び悩んだため、売上高は3,366,454千円（前年同四半期比20.3%減）となり、セグメント利益は277,753千円（前年同四半期比59.9%減）となりました。

（欧州）

特注機の売上が減少したため、売上高は290,072千円（前年同四半期比77.8%減）となり、セグメント損失は13,353千円（前年同四半期はセグメント利益301,539千円）となりました。

(2) 財政状態の分析

流動資産は前連結会計年度末に比べ995,817千円増加し16,952,789千円となりました。これは受取手形及び売掛金が588,889千円増加したことなどによるものです。固定資産は前連結会計年度末に比べ142,333千円減少し13,310,296千円となりました。これは日本で新本社建設に伴い建設仮勘定が4,583,574千円減少しましたが、建物及び構築物が4,166,953千円増加したことなどによります。その結果資産合計は前連結会計年度末に比べて853,483千円増加の30,263,085千円となりました。

流動負債は前連結会計年度末に比べ344,041千円増加して4,736,735千円となりました。これは電子記録債務が526,978千円増加したことなどによります。固定負債については大きな変動はなく、負債合計は前連結会計年度末に比べ327,026千円増加して5,020,959千円となりました。

純資産は、前期決算及び第2四半期決算の剰余金の配当があるものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などにより利益剰余金が514,718千円増加したことなどから前連結会計年度末に比べ526,457千円増加の25,242,126千円となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発費活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発費の総額は451,570千円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(5) 主要な設備

第43期連結会計年度末に計画中であった、本社システムは平成28年11月に完成し、新本社工場は平成28年12月に完成しました。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	40,000,000
計	40,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在 発行数(株) (平成28年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成29年2月14日)	上場金融商品取引 所名又は登録認可 金融商品取引業協 会名	内容
普通株式	17,819,033	17,819,033	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数は 100株
計	17,819,033	17,819,033	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金 残高(千円)
平成28年10月1日～ 平成28年12月31日	-	17,819,033	-	1,985,666	-	2,023,903

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成28年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成28年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 331,400	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 17,395,800	173,946	-
単元未満株式	普通株式 91,833	-	-
発行済株式総数	17,819,033	-	-
総株主の議決権	-	173,946	-

(注)「完全議決権株式(その他)」の「株式数(株)」欄には、証券保管振替機構名義の株式1,200株が含まれております。なお、「議決権の数(個)」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数12個は含まれておりません。

【自己株式等】

平成28年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社コーシン精機	京都市伏見区久我本町11番地の260 (注)2	331,400	-	331,400	1.86
計	-	331,400	-	331,400	1.86

(注)1. 当第3四半期連結会計期間末の自己株式数は331,436株であります。

2. 当社は、平成28年12月12日付で本店所在地を京都市南区久世殿城町555番地に移転しております。

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成28年10月1日から平成28年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成28年4月1日から平成28年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,341,166	4,594,058
受取手形及び売掛金	6,026,195	6,615,084
商品及び製品	762,329	903,614
仕掛品	625,413	1,010,737
原材料及び貯蔵品	2,286,051	2,274,597
未収消費税等	102,232	476,064
繰延税金資産	625,342	582,198
その他	218,723	520,183
貸倒引当金	30,483	23,749
流動資産合計	15,956,972	16,952,789
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,855,686	6,022,639
土地	5,779,928	5,777,059
建設仮勘定	4,587,525	3,951
その他(純額)	213,848	402,165
有形固定資産合計	12,436,989	12,205,816
無形固定資産	369,502	405,222
投資その他の資産		
投資有価証券	185,438	234,292
退職給付に係る資産	266,874	267,496
その他	193,840	197,529
貸倒引当金	14	61
投資その他の資産合計	646,137	699,258
固定資産合計	13,452,630	13,310,296
資産合計	29,409,602	30,263,085

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,516,260	1,565,140
電子記録債務	652,843	1,179,821
未払金	776,774	678,533
未払法人税等	548,986	162,707
前受金	278,867	517,282
賞与引当金	236,000	132,806
役員賞与引当金	29,960	22,050
製品保証引当金	148,441	128,372
その他	204,559	350,021
流動負債合計	4,392,694	4,736,735
固定負債		
役員退職慰労引当金	66,780	66,780
退職給付に係る負債	44,043	46,650
繰延税金負債	123,350	107,941
その他	67,065	62,851
固定負債合計	301,239	284,223
負債合計	4,693,933	5,020,959
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,985,666	1,985,666
資本剰余金	2,023,903	2,023,903
利益剰余金	20,502,208	21,016,927
自己株式	352,731	353,520
株主資本合計	24,159,047	24,672,976
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33,920	67,810
為替換算調整勘定	266,643	264,413
退職給付に係る調整累計額	50,245	50,199
その他の包括利益累計額合計	350,808	382,423
非支配株主持分	205,812	186,725
純資産合計	24,715,668	25,242,126
負債純資産合計	29,409,602	30,263,085

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	15,527,582	13,813,418
売上原価	8,964,585	8,130,020
売上総利益	6,562,997	5,683,398
販売費及び一般管理費	4,068,843	4,018,499
営業利益	2,494,154	1,664,898
営業外収益		
受取利息	10,308	4,761
受取配当金	4,722	4,683
仕入割引	11,216	9,800
保険返戻金	3,582	-
補助金収入	12,208	11,672
その他	12,136	12,289
営業外収益合計	54,175	43,206
営業外費用		
売上割引	617	857
為替差損	167,910	116,673
その他	214	5,829
営業外費用合計	168,742	123,361
経常利益	2,379,586	1,584,744
特別利益		
固定資産売却益	121	905
投資有価証券売却益	1,104	-
特別利益合計	1,226	905
特別損失		
固定資産除売却損	833	48,909
特別損失合計	833	48,909
税金等調整前四半期純利益	2,379,980	1,536,739
法人税等	648,369	389,535
四半期純利益	1,731,610	1,147,204
非支配株主に帰属する四半期純利益	63,426	23,293
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,668,184	1,123,910

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	1,731,610	1,147,204
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,256	33,890
為替換算調整勘定	161,467	304
退職給付に係る調整額	3,335	45
その他の包括利益合計	177,060	34,149
四半期包括利益	1,554,550	1,181,353
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,510,040	1,155,525
非支配株主に係る四半期包括利益	44,509	25,828

【注記事項】

(会計方針の変更)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日。以下「回収可能性適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間から適用し、繰延税金資産の回収可能性に関する会計処理の方法の一部を見直しております。

回収可能性適用指針の適用については、回収可能性適用指針第49項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点において回収可能性適用指針第49項(3)からに該当する定めを適用した場合の繰延税金資産及び繰延税金負債の額と、前連結会計年度末の繰延税金資産及び繰延税金負債の額との差額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加算しております。

この結果、第1四半期連結会計期間の期首において、繰延税金資産(投資その他の資産)が20,367千円、利益剰余金が20,367千円増加しております。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理を行っております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
受取手形	- 千円	84,914千円
支払手形	- 千円	19,215千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
減価償却費	295,514千円	257,918千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年5月11日 取締役会	普通株式	349,762	20	平成27年3月31日	平成27年6月9日	利益剰余金
平成27年11月5日 取締役会	普通株式	262,319	15	平成27年9月30日	平成27年12月1日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年5月10日 取締役会	普通株式	367,244	21	平成28年3月31日	平成28年6月3日	利益剰余金
平成28年11月4日 取締役会	普通株式	262,314	15	平成28年9月30日	平成28年12月1日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	米国	アジア	欧州			
売上高							
外部顧客への売上高	7,597,719	2,647,127	3,976,678	1,306,057	15,527,582	-	15,527,582
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,416,953	11,636	249,024	2,670	3,680,285	3,680,285	-
計	11,014,672	2,658,763	4,225,703	1,308,727	19,207,867	3,680,285	15,527,582
セグメント利益	1,096,468	315,987	691,999	301,539	2,405,996	88,157	2,494,154

(注)1. セグメント利益の調整額88,157千円には、セグメント間取引消去59,586千円、棚卸資産の調整額28,571千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	米国	アジア	欧州			
売上高							
外部顧客への売上高	7,942,648	2,386,574	3,194,568	289,627	13,813,418	-	13,813,418
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,839,287	9,220	171,886	445	3,020,838	3,020,838	-
計	10,781,935	2,395,794	3,366,454	290,072	16,834,257	3,020,838	13,813,418
セグメント利益又は損失()	1,029,164	235,281	277,753	13,353	1,528,845	136,052	1,664,898

(注)1. セグメント利益又は損失()の調整額136,052千円には、セグメント間取引消去39,795千円、棚卸資産の調整額96,257千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年12月31日)
1 株当たり四半期純利益金額	95円39銭	64円27銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円)	1,668,184	1,123,910
普通株主に帰属しない金額 (千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円)	1,668,184	1,123,910
普通株式の期中平均株式数 (株)	17,488,006	17,487,700

(注) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

平成28年11月 4 日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額.....262,314千円

(ロ) 1 株当たりの金額.....15円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成28年12月 1 日

(注) 平成28年 9 月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行いました。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成29年 2月10日

株式会社コーシン精機

取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 山田美樹 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 高崎充弘 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社コーシン精機の平成28年4月1日から平成29年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成28年10月1日から平成28年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成28年4月1日から平成28年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社コーシン精機及び連結子会社の平成28年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。